

平成 27 年度
社会教育主事講習 [B]
実 施 要 項

期 間 平成 28 年 1 月 20 日 ~ 2 月 26 日

主 催 国 立 教 育 政 策 研 究 所
社会教育実践研究センター

平成27年度社会教育主事講習〔B〕実施要項

1. 趣 旨

社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施するものです。

2. 主 催

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

3. 対 象

社会教育主事講習等規程第2条の各号の一に該当する方が対象です。

4. 定 員

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターを主会場として、インターネットを活用したライブ配信により、下記の9地方会場でも受講できます。

なお、地方会場での受講の詳細は「10. 地方会場における受講について」を参照してください。

併せて、受講者の選定制限の取扱いについて、「13. 受講者の選定及び受講者決定の通知」を参照してください。

<施設名称>	<募集予定人数>
社会教育実践研究センター	【主会場】 120人
新潟県立生涯学習推進センター	【新潟会場】 20人
静岡県教育会館（概論，計画，特講）	【静岡会場】 25人
静岡市産学交流センター（演習）	
琴浦町生涯学習センター	【鳥取会場】 24人
島根県立青少年の家〔サン・レイク〕	【島根東会場】 10人
島根県立西部社会教育研修センター〔いわみ～る内〕	【島根西会場】 5人
広島県立生涯学習センター	【広島会場】 10人
まなびの館ローズコム	【福山会場】 10人
愛媛県総合教育センター（月曜日）	【愛媛会場】 20人
愛媛県生涯学習センター（火～金曜日）	
沖縄県南部合同庁舎生涯学習推進センター	【沖縄会場】 20人

5. 期 間

平成28年1月20日（水）～ 2月26日（金） <38日間>

6. 会 場

(1) 主会場

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43

電 話：03-3823-0241（内線604）

03-3823-8420（直通）

FAX：03-3823-3008

(2) 地方会場

- ①【新潟会場】新潟県立生涯学習推進センター
〒950-8602 新潟県新潟市中央区女池南3-1-2
電話：025-284-6110
FAX：025-284-6019
- ②【静岡会場】 **※科目により会場が異なります。**
・静岡県教育会館（概論，計画，特講）
〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-1-2
電話：054-252-1011
FAX：054-251-9672（※講習期間中のみ）

・静岡市産学交流センター（演習）
〒420-0857 静岡県静岡市葵区御幸町3-2-1ペガサート6階7階
電話：054-275-1655
FAX：054-275-1656
- ③【鳥取会場】琴浦町生涯学習センター
〒689-2303 鳥取県東伯郡琴浦町徳万266-5
電話：0858-52-1161
FAX：0858-52-1122
- ④【島根東会場】島根県立青少年の家 [サン・レイク]
〒691-0074 島根県出雲市小境町1991-2
電話：0853-67-9061
FAX：0853-69-1380
- ⑤【島根西会場】島根県立西部社会教育研修センター [いわみ〜る内]
〒697-0016 島根県浜田市野原町1826-1
電話：0855-24-9344
FAX：0855-24-9345
- ⑥【広島会場】広島県立生涯学習センター
〒730-0052 広島県広島市中区千田町3-7-47
電話：082-248-8848
FAX：082-248-8840
- ⑦【福山会場】まなびの館ローズコム
〒720-0812 広島県福山市霞町1-10-1
電話：084-932-7265
FAX：084-928-8609
- ⑧【愛媛会場】 **※曜日により会場が異なります。**
・愛媛県総合教育センター（月曜日）
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650
電話：089-963-3111
FAX：089-963-3146

・愛媛県生涯学習センター（火～金曜日）
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650
電話：089-963-2111
FAX：089-963-4526
- ⑨【沖縄会場】沖縄県南部合同庁舎生涯学習推進センター
〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37（南部合同庁舎4階）
電話：098-864-0474
FAX：098-864-0476

(3) 宿泊研修会場（平成28年1月27日(水)～1月29日(金)）

①主会場・静岡会場 **※合同で実施**

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑2092-5

電話：0550-89-2020

FAX：0550-89-2025

[必要経費] 6,500円

- ・食事代：3,280円（1月27日夕食～1月29日昼食）
（朝食：420円×2，昼食：560円×2，夕食：660円×2）
- ・シーツ代：200円
- ・その他：3,020円（情報交換会代金）

②新潟会場

新潟市アグリパーク

〒950-1406 新潟県新潟市南区東笠巻新田3044

電話：025-378-3109

FAX：025-378-3096

[必要経費] 11,500円

- ・食事代：1,000円（昼食1,000円×1回）
- ・宿泊代：10,000円（5,000円×2泊）※朝・夕食付き
- ・その他：500円（搾乳体験代金）

③鳥取会場

鳥取県立船上山少年自然の家

〒689-2525 鳥取県東伯郡琴浦町山川807-2

電話：0858-55-7111

FAX：0858-55-7119

[必要経費] 4,470円

- ・食事代：4,290円（1月27日昼食～1月29日昼食）
（朝食：490円×2，昼食：610円×3，夕食：740円×2）
- ・シーツ代：180円

④島根東会場・島根西会場・広島会場・福山会場・愛媛会場 **※合同で実施**

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家

〒737-2126 広島県江田島市江田町津久茂1-1-1

電話：0823-42-0660

FAX：0823-42-0664

[必要経費] 3,480円

- ・食事代：3,280円（1月27日昼食～1月29日朝食）
（朝食：410円×2，昼食：560円×2，夕食：670円×2）
- ・シーツ代：200円

⑤沖縄会場

沖縄県立糸満青少年の家

〒901-0313 沖縄県糸満市字賀数347

電話：098-994-6342

FAX：098-995-0684

[必要経費] 5,000円

- ・食事代：3,520円（1月27日夕食～1月29日昼食）
（朝食：360円×2，昼食：520円×3，夕食：620円×2）
- ・シーツ代：160円
- ・その他：1,320円（情報交換会代金）

※会場により、食事回数や代金等が異なります。
また、その他の諸経費が発生する場合があります。

(4) 現地研修会場 (平成28年2月18日(木))

①主会場 **※コース選択制**

【aコース】 <午前> 浦安市立中央図書館

〒279-0004 千葉県浦安市猫実1-2-1

<午後> 浦安市中央公民館

〒279-0004 千葉県浦安市猫実4-18-1

【bコース】 <午前> 川越市伊勢原公民館

〒350-1108 埼玉県川越市伊勢原町5-1-1

<午後> 埼玉県立歴史と民俗の博物館

〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-219

【cコース】 <午前> 横浜市立東山田中学校コミュニティハウス

〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田2-9-1

<午後> 横浜中央図書館

〒220-0032 神奈川県横浜市西区老松町1

【dコース】 <午前> 杉並区児童青少年センター (ゆう杉並)

〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-56-3

<午後> 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

【eコース】 <午前> 江戸東京たてもの園

〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1 都立小金井公園内

<午後> 武蔵野プレイス

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2-3-18

【fコース】 <午前> BumB 東京スポーツ文化館

〒136-0081 東京都江東区夢の島3-2

<午後> 千代田区立千代田図書館

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1

千代田区役所9・10F

②新潟会場

<午前> にいつ子育て支援センター育ちの森

〒956-0035 新潟県新潟市秋葉区程島2009

<午後> 新潟市アイスアリーナ

〒950-1141 新潟県新潟市中央区鐘木257-17

③静岡会場

<午前> 島田市立川根図書館・島田市立川根小学校

〒428-0104 静岡県島田市川根町家山400-1

<午後> ふじのくに地球環境史ミュージアム

〒422-8017 静岡県静岡市駿河区大谷5762

④鳥取会場

<午前> 鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101

<午後> 鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-124

⑤島根東・島根西会場 **※合同で実施**

<午前> 荒木コミュニティセンター

〒699-0722 島根県出雲市大杜町北荒木389-2

<午後> 島根県立宍道湖自然館「ゴビウス」 **※入館料450円**

〒691-0076 島根県出雲市園町1659-5

⑥広島会場・福山会場 **※合同で実施**

<午前> 広島県立美術館

〒730-0014 広島県広島市中区上鞆町2-22

<午後> 広島県立図書館

〒730-0052 広島県広島市中区千田町3-7-47

⑦愛媛会場

- <午前> 旧櫛生小学校（櫛生公民館・櫛生自治会活用施設）
〒799-3453 愛媛県大洲市長浜町櫛生乙141
<午後> 野村地域教育福祉複合施設（ゆめちゃんこ）
〒797-1212 愛媛県西予市野村町野村11-35-1

⑧沖縄会場

- <午前> 沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193-7
<午後> 那覇市若狭公民館
〒900-0031 沖縄県那覇市字若狭2-12-1

7. 講習を行う科目名，単位数，内容・テーマ，配当時間数，教育方法及び講師
<別表1>のとおり

8. 日程

<別表2>のとおり

9. 受講申し込み手続

(1) 申し込み方法及び申込先

受講希望者は，「(2) 提出書類」のうち必要な書類を，勤務地に所在する都道府県教育委員会の社会教育主事講習担当宛てに提出してください。

また，公務員以外の者は，居住する都道府県教育委員会に提出してください。

なお，独立行政法人国立青少年教育振興機構に勤務する者で都道府県教育委員会との人事交流で採用されている職員は，派遣元の都道府県教育委員会に提出してください。

(2) 提出書類 ※下記ア. 及びイ. は必ず提出が必要です。

ア. 「社会教育主事講習[B]受講申込書」…【様式1】

当センターホームページから，申込書様式をダウンロードし，必要事項を記入，押印の上，御提出ください。記入した申込書のデータについても，申込先が指定する方法で，上記と併せて御提出ください。

<申込書様式のダウンロード>

下記URLからダウンロードしてください。

<http://www.nier.go.jp/jissen/youkou/h27youkou/index.htm>

イ. 「受講資格」を証明する書類（上記アの「⑪受講資格」欄を証明する書類）

社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号。以下，「省令」。）の第2条各号において，提出が必要な書類は下記のとおりとします。

<第1号該当者>

a) 最終学歴の「卒業証明書」※「卒業証書」の写しでは認められません。

b) 大学在学中の者は，「在学証明書」及び「本講習の受講が学業・卒業に支障のない旨を記した大学からの書面」（様式自由）

<第2号該当者>

教育職員の普通免許状の写，又は，教育職員免許状授与証明書

<第3，第4，及び第5号該当者>

所属長が証明する「勤務証明書」…【様式2】

ウ. 「単位修得認定申請書」…【様式3】

単位修得の認定を希望する者のみ御提出ください。

詳細は，下記「11. 科目代替について」を御参照ください。

（提出書類は次ページに続きます）

エ. 「単位修得証明書」……………【様式4】

講習の分割受講を希望する者のみ御提出ください。
詳細は、下記「12. 分割受講について」を御参照ください。

オ. 「受講動機について」……………【様式5】

本講習の受講を希望した理由を320～400字で記入の上、御提出ください。

※各証明書等について、写しを提出する場合は、所属機関又は推薦機関の「原本証明」が必要です。
※過去に当センターが実施する社会教育主事講習を受講し、当該証明書類を提出済みの場合には、提出不要です。
※各証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合には、「戸籍抄本」等の証明書類を併せて御提出ください。

(3) 提出期日

都道府県教育委員会は、前項の受講希望者について、受講資格の有無を審査して、資格があると認めた場合には、(2)の提出書類に「推薦書」【様式6】を添えて、**平成27年11月25日(水)【必着】**までに、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターに送付してください。また、各人の受講申込書について、Word ファイルのデータ(手書きの場合は PDF ファイル)を、下記要領によりメールでお送りください。

受講希望者が2人以上の場合は、推薦書に推薦順位を付けてください。

なお、教育委員会ごとの提出期日については上記期日よりも早くなるため、あらかじめ各自で御確認をお願いします。

<申込み様式の提出方法>

送信先メールアドレス：shujikou@nier.go.jp

メールの件名は、下記のとおり記載してください。

件名：【提出(〇〇県)】平成27年度社会教育主事講習[B]受講申込書データ

10. 地方会場における受講について

地方会場では、インターネットにより、「生涯学習概論」(2単位)、「社会教育計画」(2単位)、「社会教育特講」(3単位)、「社会教育演習(シンポジウム)」を受講することができます。

また、以下の会場では、「社会教育演習(シンポジウム以外)」(2単位)も受講することができます。

<「社会教育演習」を行う会場(宿泊研修は6.(3)参照)>

- ・新潟県立生涯学習推進センター 【新潟会場】
- ・静岡市産学交流センター 【静岡会場】
- ・琴浦町生涯学習センター 【鳥取会場】
- ・島根県立青少年の家[サン・レイク] 【島根東会場】
- ・広島県立生涯学習センター 【広島会場】
- ・まなびの館ローズコム 【福山会場】
- ・愛媛県総合教育センター(月曜日) 【愛媛会場】
- ・愛媛県生涯学習センター(火～金曜日)】
- ・沖縄県南部合同庁舎生涯学習推進センター 【沖縄会場】

※ 島根西会場の受講希望者は、当該科目は島根東会場での受講となります。

1 1. 科目代替について

(1) 省令第7条第2項及び第3項の規定により、大学における科目の既修得単位、及び、文部科学大臣が定める学修をもって、本講習において受講者が修得すべき科目の単位に替えることができます。ただし、4科目全ての代替は認めませんので、1科目以上(科目は問いません)は受講してください。

また、代替できる単位は、受講申込みの時点で修得済みであることが必要です。

(2) 国立教育政策研究所は、下記ア. の①又は②の条件を満たす場合は「社会教育特講[3単位]」、下記イ. の③の条件を満たす場合は「生涯学習概論[2単位]」及び「社会教育特講[3単位]」の単位修得の認定を行います。

ア. 「社会教育特講[3単位]」に代替

- ① 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター又は国立教育会館社会教育研修所における「博物館職員講習」「図書館司書専門講座」の修了
- ② 文部科学省認定社会通信教育の「生涯学習ボランティアコース」の修了

イ. 「生涯学習概論[2単位]」及び「社会教育特講[3単位]」に代替

- ③ 放送大学における社会教育主事講習の科目に相当する科目の修得

(3) 科目代替を希望する場合は、「単位修得認定申請書」【様式3】に必要事項を記入の上、当該科目に相当する科目の「単位修得証明書」「研修講座の修了証書」等を添付してください。

1 2. 分割受講について

本講習では、科目ごとの分割受講のほか、複数年度にわたる分割受講を認めています。ただし、一つの科目の分割受講はできません。

また、分割受講についても、講習内容を体系的に理解し、実践力を高めてもらうため、原則として、①生涯学習概論、②社会教育計画、③社会教育演習の順序での履修をお願いします。

なお、社会教育特講は、生涯学習概論の履修後であれば、履修可能です。

既に、当研究所以外の機関あるいは大学において、社会教育法第9条の5に定める社会教育主事講習の一部科目の単位を修得しており、当該科目の受講の免除を希望する場合は、「単位修得証明書」【様式4】を提出してください。

なお、当センターが実施する講習で修得した場合は、【様式4】の添付は不要ですので、「受講申込書」【様式1】の「⑨単位修得の認定を受けた科目及び単位」欄に、修得科目名及び単位数と併せて、「受講年度」と「講習名」を記入してください。

(記入例：生涯学習概論2単位(平成〇〇年度[B]))

1 3. 受講者の選定及び受講者決定の通知

国立教育政策研究所は、「社会教育主事講習運営委員会」の意見を基に受講者を選定し、その結果を、推薦のあった都道府県教育委員会及び受講者本人に通知します。

なお、受講対象者の選考を行う際には、文部科学省が定める本講習の運用指針(社会教育主事講習の実施について(運用指針))に基づき、まず都道府県市町村の職員を、次に「社会教育主事補の職と同等以上の職及び社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するもの並びに教育に関する職を指定(H8.8.28文部省告示第148号)」に規定されている職についている者を優先することとしますので念のため申し添えます。

1 4. 修了証書

国立教育政策研究所は、省令第8条により、本講習において9単位以上の単位を修得した者に対して、受講終了後、講習の修了証書を授与します。

なお、修得単位が9単位に満たない者に対しては、修得した科目の「単位修得証明書」【様式4】を交付します。

15. 受講に要する経費

受講に要する経費（例：交通費、食費、宿泊費等）は、受講者側の負担とします。資料代等の負担金はありません。

16. 受講に際しての留意点

本講習は、全日出席することが原則です。やむを得ず欠席する場合は、所定の様式に欠席理由等を記載し、当センターに提出する必要があります。

なお、欠席することにより、単位修得が認められない場合があります。

17. 持参品

- (1) 印鑑（出席簿への押印用）
- (2) 動きやすい服装・靴・レインコート（宿泊研修用）
- (3) 健康保険証
- (4) 『生涯学習・社会教育行政必携』（最新版）
- (5) 勤務地等の社会教育・生涯学習振興に関する資料
（社会教育演習「事業計画立案の実際」で使用）

18. 宿泊について

当センターには宿泊施設はありません。

宿泊予定の方は、近隣のホテル等を各自で手配してくださるようお願いいたします。

19. 健康管理について

長期にわたる講習のため、受講申込みの際は、受講申込書【様式1】「⑩健康状況」欄に該当する事項は漏れなく御記入ください。また、受講申込み後に生じた疾病等についても必ず当センターに御連絡いただくようお願いいたします。

20. その他

- (1) 本実施要項に関する問合せは、下記の本件担当連絡先までお願いします。
- (2) 講習期間中は、昼休みや講義終了後等に、講習を運営する上で必要な情報をお知らせすることがありますので、あらかじめ御承知おきください。
- (3) 当センター館内は禁煙です。喫煙は所定の場所で行ってください。
- (4) 当センターには駐車・駐輪スペースがありません。お越しの際は、公共交通機関を御利用ください。
- (5) 講習期間中の方が一事故やけがに備えて、傷害保険等に加入するなどして、各自の責任で万全を期して参加していただきますようお願いいたします。
- (6) 本要項に定めるもののほか、講習実施に関することは、必要に応じて、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長が定めます。

【本件担当】

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
企画課普及・調査係

TEL：03-3823-8420

FAX：03-3823-3008

E-mail：shujikou@nier.go.jp

平成27年度社会教育主事[B]講習を行う科目名、単位数、内容・テーマ、配当時間数、教育方法及び講師

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配当 時間数	教育 方法	講 師		
生 涯 学 習 概 論	2	1 生涯学習の意義と生涯学習社会の構築					
		(1) 生涯学習社会構築の意義と生涯学習・生涯教育論の系譜	1.5	講義	青山学院大学教育人間科学部長・教授 鈴木 眞理		
		(2) 生涯学習社会における社会教育の役割	1.5				
		(3) 生涯学習社会における学校教育の役割	1.5	講義	文教大学学長 野島 正也		
		(4) 家庭・学校・社会の連携と学習システム	1.5				
		(5) 生涯学習振興施策の動向 (国の社会教育予算と施策を含む)	1.5	講義	文部科学省生涯学習政策局社会教育課		
		2 社会教育の意義と特性					
		(1) 教育の原理と社会教育の意義・特質	1.5	講義	東京家政大学教授 山本 和人		
		(2) 生涯学習・社会教育史	1.5	講義	広島大学大学院准教授 久井 英輔		
		3 社会教育行政の展開					
		(1) 社会教育行政の意義と役割	1.5	講義	徳島大学大学開放実践センター長・教授 馬場 祐次朗		
		(2) 一般行政と社会教育行政の連携	3	講義	香川大学生涯学習教育研究センター長・教授 清國 祐二		
		(3) 社会教育施設の役割と機能	3	講義	大分大学高等教育開発センター准教授 岡田 正彦		
		(4) 社会教育関係法令と制度	3	講義	文部科学省生涯学習政策局社会教育課		
		(5) 都道府県と市町村における社会教育行政の展開	3	講義	神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課専任主幹 額 額 仁志 厚木市教育委員会社会教育部社会教育課社会教育係 副主幹兼社会教育主事 坂部 詠子 厚木市市民協働推進部文化生涯学習課生涯学習推進係 主幹兼係長 原田 昌彦		
		4 社会教育の内容・方法と指導者					
		(1) 社会教育の内容・方法・形態	3	講義	宮城教育大学教職大学院教授 梨本 雄太郎		
		(2) 社会教育主事の職務と社会教育指導者の役割	3	講義	札幌国際大学教授 佐久間 章		
		小 計			30		

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 計 画	2	1 地域社会と社会教育			
		(1) 生涯学習の振興とまちづくり	3	講義 事例研究	琉球大学教授 井上 講四 (調整中)
		(2) 地域総合計画と社会教育計画	1.5	講義	神戸学院大学教授 今西 幸蔵
		2 社会教育事業計画			
		(1) 事業計画の意義と内容	3	講義	文教大学教授 金藤 ふゆ子
		(2) 事業の企画及びプログラム編成の視点と手順			
		(3) 学習成果の評価と活用	1.5	講義	秋田大学教授 原 義彦
		3 社会教育の対象の理解と組織化			
		(1) 対象の理解とカウンセリング	3	講義	宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和
		(2) 学習集団形成のプロセスと支援	1.5	講義	聖学院大学教授 小池 茂子
		4 学習情報提供・学習相談の意義と内容・方法			
		(1) 学習情報提供・学習相談の意義	3	講義	文教大学名誉教授 平沢 茂
		(2) 学習情報提供・学習相談の実際		事例研究	新潟県立生涯学習推進センター社会教育主事 若月 隆雄
		5 社会教育調査とデータ活用			
		6 社会教育の広報・広聴			
		(1) 調査の意義と内容	3	講義	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所准教授 土屋 隆裕
		(2) 地域課題の把握方法と企画		事例研究	北海道立生涯学習推進センター 主幹 柴田 暦章 主査 會田 大祐
		(3) 社会教育における広報・情報公開	1.5	講義	常磐大学教授 坂井 知志
		7 社会教育施設の経営			
		社会教育施設の経営の実際と連携	3	シンポ ジウム	(コーディネーター) 滋賀大学社会連携研究センター准教授 横山 幸司 (登壇者) 北秋田市教育委員会生涯学習課参事 松田 淳子 田原市図書館司書 辻 一生 千葉県立中央博物館企画調整課長 高梨 俊夫
		8 社会教育の評価			
		(1) 評価の意義と視点	3	講義	八洲学園大学教授 浅井 経子
		(2) 評価の内容と方法			
		(3) 行政評価・事業評価の実際	3	講義 事例研究	政策研究大学院大学学長特別補佐・教授 今野 雅裕 大和市文化スポーツ部生涯学習センター 主査 (社会教育主事) 田口 陽平
小 計			30		

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配当 時間数	教育 方法	講 師	
社 会 教 育 特 講	3	1 社会の諸問題				
		(1) 社会の諸問題の現状と社会教育	1.5	講義	佛教大学講師 白石 克己	
		(2) 高齢化と社会教育	3	講義 事例研究	大阪教育大学教授 堀 薫夫 中野区健康福祉部健康・スポーツ分野兼 中野区教育委員会事務局社会教育主事 市川 恵子	
		(3) 情報化と青少年問題	3	講義 事例研究	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 独立行政法人国立青少年教育振興機構教育部副部長 松村 純子	
		(4) 家庭教育と社会教育①（家庭・家族の諸問題）	1.5	講義	大阪府立大学教授 山野 則子	
		(5) 家庭教育と社会教育②（家庭教育支援）	3	講義 事例研究	九州女子大学教授 大島 まな 亀山市教育委員会生涯学習室 室長 亀山 隆, 主任主事 井上 朋美	
		(6) 男女共同参画社会の形成と社会教育	3	講義 事例研究	中央大学教授 広岡 守穂 福井市役所市民生活部男女参画・市民協働推進室主事 大西 一浩	
		(7) 環境問題と社会教育	3	講義	滋賀大学社会連携研究センター長・教授 神部 純一	
		(8) キャリア教育・職業教育	1.5	講義	聖徳大学准教授 齊藤 ゆか	
		(9) 人権教育	3	講義	公益財団法人人権教育啓発推進センター上級特別研究員 筑波大学名誉教授 福田 弘	
		(10) 健康づくりと社会教育	3	講義 事例研究	上智大学教授 師岡 文男 特定非営利活動法人ピボットフット理事長 桑田 健秀	
	(11) 消費者問題と社会教育	1.5	講義	相山女学園大学教授 東 珠実		
	2 生涯学習をめぐる新しい動向					
	(1) 地方創生と社会教育 （地域の資源を生かしたコミュニティの活性化）	4.5	講義 事例研究	株式会社ローカルファースト研究所代表取締役 関 幸子 神戸大学大学院教授 松岡 広路 西予市教育委員会教育部城川教育課遊子川公民館専門員 中井 圭介 岐阜県立可児高等学校教諭 浦崎 太郎		
	(2) 学校と地域の連携・協働	3	講義 事例研究	岡山大学大学院准教授 熊谷 慎之輔 奈良市富雄中学校区地域教育協議会 鳥見小学校・幼稚園運営委員会代表コーディネーター 都築 由美 豊後高田市教育委員会学校教育課 課長 小川 匡, 主幹兼学務係長 田中 良久		
	(3) ボランティアの意義と役割	3	講義 事例研究	昭和女子大学特任教授 コミュニティサービスラーニングセンター長 興梠 寛 社会福祉法人世田谷ボランティア協会（世田谷ボランティア センター）ボランティア市民活動推進部ボランティアコー ディネーター 宮崎 紘子		
	(4) 行政と多様な主体（マルチステークホルダー） の連携・協働	3	講義 事例研究	認定特定非営利活動法人日本NPOセンター常務理事 田尻 佳史 真鶴町立遠藤貝類博物館学芸員 山本 真人		
	(5) 大学機能の開放と社会教育	1.5	講義	広島修道大学教授・ひろしま未来協創センター長 山川 肖美		
	(6) 防災と社会教育	3	講義	常葉大学大学院環境防災研究科長・教授 重川 希志依		
	小 計			45		

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 演 習		1 教育施設整備の動向（現地研修）	6	演習	(aコース) 浦安市立中央図書館 浦安市中央公民館 (bコース) 川越市伊勢原公民館 埼玉県立歴史と民俗の博物館 (cコース) 横浜市立東山田中学校コミュニティハウス 横浜市中央図書館 (dコース) 杉並区児童青少年センター（ゆう杉並） 調布市立図書館 (eコース) 江戸東京たてもの園 武蔵野プレイス (fコース) Bumb東京スポーツ文化館 千代田区立千代田図書館 【新潟会場】 にいつ子育て支援センター育ちの森 新潟市アイスアリーナ 【静岡会場】 島田市立川根図書館・島田市立川根小学校 ふじのくに地球環境史ミュージアム 【鳥取会場】 鳥取県立図書館 鳥取県立博物館 【島根東・島根西会場】 荒木コミュニティセンター 島根県立宍道湖自然館「ゴビウス」 【広島会場・福山会場】 広島県立美術館 広島県立図書館 【愛媛会場】 旧榑生小学校（榑生公民館・榑生自治会活用施設） 野村地域教育福祉複合施設（ゆめちゃんこ） 【沖縄会場】 沖縄県立埋蔵文化財センター 那覇市若狭公民館
	2				

社会教育演習	2	2 学習要求把握とプログラム			
		(1) 青少年の体験活動の意義と実際	3	講義	<p>【主会場・静岡会場】※合同で実施 [会場：国立中央青少年交流の家] 文教大学専任講師 青山 鉄兵</p> <p>【新潟会場】 [会場：新潟市アグリパーク] 新潟市アグリパーク教育ファーム園長 真柄 正幸</p> <p>【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県立船上山少年自然の家 指導担当係長兼社会教育主事 中本 祐二</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場】※合同で実施 [会場：国立江田島青少年交流の家] 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 小早川 崇</p> <p>【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] 沖縄県立糸満青少年の家所長 與座 盛岡</p>
		(2) ファシリテーションの基礎	3	講義	<p>【主会場・静岡会場】※合同で実施 [会場：国立中央青少年交流の家] 桜井・法貴グローバル教育研究所主宰 桜井 高志</p> <p>【新潟会場】 [会場：新潟市アグリパーク] 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援室地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当社会教育主事 岸本 隆治</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場】※合同で実施 [会場：国立江田島青少年交流の家] 広島県立生涯学習センター社会教育主事 大名 克英 寺川 博人</p> <p>【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] 那覇市立さつき小学校教頭 細田 幸弘</p>

社会 教育 演 習	2	(3) グループワークの実際	3	<p>【主会場・静岡会場】※合同で実施 [会場：国立中央青少年交流の家] 桜井・法貴グローバル教育研究所主宰 桜井 高志</p> <p>【新潟会場】 [会場：新潟市アグリパーク] 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援室地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県レクリエーション協会副会長 玉木 純一</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場】※合同で実施 [会場：国立江田島青少年交流の家] 広島県立生涯学習センター社会教育主事 大名 克英 寺川 博人</p> <p>【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] 専修学校育成保育カレッジ学院 レクリエーションインストラクター養成課程専任講師 細田 奈々</p>
		(4) プレゼンテーションの技能	3	<p>講義</p> <p>【主会場・静岡会場】※合同で実施 [会場：国立中央青少年交流の家] 特定非営利活動法人国際プレゼンテーション協会副理事長 脇谷 聖美</p> <p>【新潟会場】 [会場：新潟市アグリパーク] 特定非営利活動法人まちづくり学校代表理事・校長 大滝 聡</p> <p>【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県教育委員会事務局東部教育局 社会教育担当社会教育主事 寺谷 孝志</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場】※合同で実施 [会場：国立江田島青少年交流の家] 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉</p> <p>【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] 八重瀬町立東風平小学校教頭 與儀 毅</p>

社会 教育 演習	2	3 教育事業の立案・展開の実際		
		(1) 教育事業の立案・展開の現状と課題	3	シンポジウム (コーディネーター) 社会教育実践研究センター専門調査員 (登壇者) 群馬県教育委員会事務局中部教育事務所 次長(生涯学習係長) 伊井 敏弘 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課社会教育主事 伊藤 公雄 山梨県教育庁社会教育課リーダー副主幹 小池 孝二
		(2) 事業計画立案の実際	24	演習 (演習指導者) 【主会場】 群馬県教育委員会事務局中部教育事務所 次長(生涯学習係長) 伊井 敏弘 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課社会教育主事 伊藤 公雄 山梨県教育庁社会教育課リーダー副主幹 小池 孝二 【新潟会場】 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課長 武樋 正之 【静岡会場】 静岡県教育委員会社会教育課社会教育主事 鈴木 香 大岡 浩子 【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局社会教育課 社会教育担当社会教育主事 河合 淳一 【島根東・島根西会場】 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉 【広島会場】 広島県立生涯学習センター社会教育主事 大名 克英 【福山会場】 広島県立生涯学習センター社会教育主事 寺川 博人 【愛媛会場】 愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治 【沖縄会場】 沖縄県教育庁生涯学習振興課社会教育主事 川添 貴司 松尾 剛
小計	45			
合計	150			

平成27年度社会教育主事講習[B] 日程表

【科目名】生涯学習概論 [2単位]

9:00	9:30	11:00	11:15	12:45	14:00	15:30	15:45	17:15	
<p>【1/20(水)の日程】 ※主会場</p> <p>8:15～ 8:55 受付</p> <p>9:00～ 9:25 開講式・オリエンテーション</p> <p>9:30～17:15 講義</p> <p>17:20～18:00 オリエンテーション</p>									
生涯 学習 概 論	1/20 (水)	開講式・オリエンテーション 生涯学習振興施策の動向 文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課	生涯学習・社会教育史 広島大学大学院准教授 久井 英輔	生涯学習社会における学校教育の役割 家庭・学校・社会の連携と学習システム				文教大学学長 野島 正也	オリエンテーション
	1/21 (木)	社会教育施設の役割と機能 大分大学高等教育開発センター准教授 岡田 正彦		生涯学習社会構築の意義と生涯学習・生涯教育論の系譜 生涯学習社会における社会教育の役割 青山学院大学教育人間科学部長・教授 鈴木 眞理					
	1/22 (金)	社会教育主事の職務と社会教育指導者の役割 札幌国際大学教授 佐久間 章		一般行政と社会教育行政の連携 香川大学生涯学習教育研究センター長・教授 清國 祐二					
	1/25 (月)	教育の原理と社会教育の意義・特質 東京家政大学教授 山本 和人	社会教育行政の意義と役割 徳島大学 大学開放実践センター センター長・教授 馬場 祐次朗	社会教育の内容・方法・形態 宮城教育大学教職大学院教授 梨本 雄太郎					
	1/26 (火)	社会教育関係法令と制度 文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課		都道府県と市町村における社会教育行政の展開 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課 専任主幹 瀨瀬 仁志 厚木市教育委員会社会教育部社会教育課社会教育係 副主幹兼社会教育主事 坂部 詠子 厚木市市民協働推進部文化生涯学習課生涯学習推進係 主幹兼係長 原田 昌彦					

【科目名】社会教育演習 [2単位]

9:00 9:30		12:45 14:00	17:15	
社 会 教 育 演 習	1/27 (水)	<p>○宿泊研修会場に移動 ○各会場にて、受付・オリエンテーション等</p> <p>《宿泊研修会場》</p> <p>【主会場・静岡会場合同】 国立中央青少年交流の家</p> <p>【新潟会場】 新潟市アグリパーク</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県立船上山少年自然の家</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 国立江田島青少年交流の家</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県立糸満青少年の家</p>	<p>青少年の体験活動の意義と実際</p> <p>※主会場は14:30～17:45に実施</p> <p>※【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】では、 1/28(木)14:00～17:15に実施</p> <p>【主会場・静岡会場合同】 文教大学専任講師 青山 鉄兵</p> <p>【新潟会場】 新潟市アグリパーク教育ファーム園長 真柄 正幸</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県立船上山少年自然の家 指導担当係長兼社会教育主事 中本 祐二</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 小早川 崇</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県立糸満青少年の家所長 與座 盛岡</p>	
	1/28 (木)	<p>ファシリテーションの基礎</p> <p>※【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】では、 1/27(水)14:00～17:15に実施</p> <p>【主会場・静岡会場合同】 桜井・法貴グローバル教育研究所主宰 桜井 高志</p> <p>【新潟会場】 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援室地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当社会教育主事 岸本 隆治</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 広島県立生涯学習センター社会教育主事 大名 克英 寺川 博人</p> <p>【沖縄会場】 那覇市立さつき小学校教頭 細田 幸弘</p>	<p>グループワークの実際</p> <p>※【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】では、 1/28(木)9:30～12:45に実施</p> <p>【主会場・静岡会場合同】 桜井・法貴グローバル教育研究所主宰 桜井 高志</p> <p>【新潟会場】 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援室地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県レクリエーション協会副会長 玉木 純一</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 広島県立生涯学習センター社会教育主事 大名 克英 寺川 博人</p> <p>【沖縄会場】 専修学校育成保育カレッジ学院 レクリエーションインストラクター養成課程 専任講師 細田 奈々</p>	

【科目名】社会教育演習 [2単位]

		9:00	9:30	12:45	14:00	17:15
社会 教育 演習	1/29 (金)	プレゼンテーションの技能				
		【主会場・静岡会場合同】 特定非営利活動法人国際プレゼンテーション協会 副理事長 脇谷 聖美				
		【新潟会場】 特定非営利活動法人まちづくり学校 代表理事・校長 大滝 聡				
		【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局東部教育局 社会教育担当社会教育主事 寺谷 孝志				(移動)
		【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉				
		【沖縄会場】 八重瀬町立東風平小学校教頭 與儀 毅				

【科目名】社会教育計画 [2単位]

9:00		9:30		11:00		11:15		12:45		14:00		15:30		15:45		17:15	
社会 教育 計 画	2/1 (月)	学習集団形成の プロセスと支援 聖学院大学教授 小池 茂子	地域総合計画と 社会教育計画 神戸学院大学教授 今西 幸蔵	生涯学習の振興とまちづくり 琉球大学教授 井上 講四 〈事例研究〉 (調整中)													
	2/2 (火)	《シンポジウム》 社会教育施設の経営の実際と連携 (コーディネーター) 滋賀大学社会連携研究センター准教授 横山 幸司 (登壇者) 北秋田市教育委員会生涯学習課参事 松田 淳子 田原市図書館司書 辻 一生 千葉県立中央博物館企画調整課長 高梨 俊夫		事業計画の意義と内容 事業の企画及びプログラム編成の視点と手順 文教大学教授 金藤 ふゆ子													
	2/3 (水)	対象の理解とカウンセリング 宇都宮大学地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和		調査の意義と内容 地域課題の把握方法と企画 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所准教授 土屋 隆裕 〈事例研究〉 北海道立生涯学習推進センター 主幹 柴田 暦章 主査 會田 大祐													
	2/4 (木)	学習情報提供・学習相談の意義 学習情報提供・学習相談の実際 文教大学名誉教授 平沢 茂 〈事例研究〉 新潟県立生涯学習推進センター社会教育主事 若月 隆雄		評価の意義と視点 評価の内容と方法 八洲学園大学教授 浅井 経子													
	2/5 (金)	行政評価・事業評価の実際 政策研究大学院大学学長特別補佐・教授 今野 雅裕 〈事例研究〉 大和市文化スポーツ部生涯学習センター 主査(社会教育主事) 田口 陽平		学習成果の評価と活用 秋田大学教授 原 義彦				社会教育における 広報・情報公開 常磐大学教授 坂井 知志									

【科目名】「社会教育特講」[3単位]

9:00		9:30		11:00 11:15		12:45 14:00		15:30 15:45		17:15	
社会教育特講	2/8 (月)	健康づくりと社会教育 上智大学教授 師岡 文男 〈事例研究〉 特定非営利活動法人ピボットフット理事長 桑田 健秀				男女共同参画社会の形成と社会教育 中央大学教授 広岡 守穂 〈事例研究〉 福井市役所市民生活部男女参画・市民協働推進室主事 大西 一浩					
	2/9 (火)	社会の諸課題の現状と社会教育 佛教大学講師 白石 克己		家庭教育と社会教育① (家庭・家族の諸問題) 大阪府立大学教授 山野 則子		家庭教育と社会教育② (家庭教育支援) 九州女子大学教授 大島 まな 〈事例研究〉 亀山市教育委員会生涯学習室 室長 亀山 隆 主任主事 井上 朋美					
	2/10 (水)	情報化と青少年問題 千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 〈事例研究〉 独立行政法人国立青少年教育振興機構 教育事業部副部長 松村 純子				環境問題と社会教育 滋賀大学社会連携研究センター長・教授 神部 純一					
	2/12 (金)	人権教育 公益財団法人 人権教育啓発推進センター上級特別研究員 筑波大学名誉教授 福田 弘				高齢化と社会教育 大阪教育大学教授 堀 薫夫 〈事例研究〉 中野区健康福祉部健康・スポーツ分野兼 中野区教育委員会事務局社会教育主事 市川 恵子					
	2/15 (月)	消費者問題と社会教育 椋山女学園大学教授 東 珠実		地方創生と社会教育 (地域の資源を生かした コミュニティの活性化) 株式会社 ローカルファースト研究所 代表取締役 関 幸子		地方創生と社会教育 (地域の資源を生かしたコミュニティの活性化) 神戸大学大学院教授 松岡 広路 〈事例研究〉 西予市教育委員会教育部城川教育課 遊子川公民館専門員 中井 圭介 岐阜県立可児高等学校教諭 浦崎 太郎					

【科目名】「社会教育特講」[3単位]／「社会教育演習」[2単位]

9:00		9:30		11:00 11:15		12:45 14:00		15:30 15:45		17:15	
社会教育特講	2/16 (火)	ボランティアの意義と役割 昭和女子大学特任教授・ コミュニティサービスラーニングセンター長 興梠 寛 〈事例研究〉 社会福祉法人世田谷ボランティア協会 (世田谷ボランティアセンター) ボランティア市民活動推進部ボランティアコーディネーター 宮崎 紘子		キャリア教育・職業教育		大学機能の開放と 社会教育 広島修道大学教授・ ひろしま未来協創センター長 山川 肖美					
	2/17 (水)	行政と多様な主体(マルチステークホルダー)の 連携・協働 認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター常務理事 田尻 佳史 〈事例研究〉 真鶴町立遠藤貝類博物館学芸員 山本 真人		防災と社会教育		常葉大学大学院環境防災研究科長・教授 重川 希志依					
社会教育演習	2/18 (木)	教育施設整備の動向(現地研修) 【主会場】 a: 浦安市立中央図書館 b: 川越市伊勢原公民館 c: 横浜市立東山田中学校コミュニティハウス d: 杉並区児童青少年センター(ゆう杉並) e: 江戸東京たてもの園 f: BumB東京スポーツ文化館 【新潟会場】 にいつ子育て支援センター育ちの森 【静岡会場】 島田市立川根図書館・島田市立川根小学校 【鳥取会場】 鳥取県立図書館 【島根東・島根西会場】※合同で実施 荒木コミュニティセンター 【広島・福山会場】※合同で実施 広島県立美術館 【愛媛会場】 旧榎生小学校(榎生公民館・榎生自治会活用施設) 【沖縄会場】 沖縄県立埋蔵文化財センター		教育施設整備の動向(現地研修) 【主会場】 a: 浦安市中央公民館 b: 埼玉県立歴史と民俗の博物館 c: 横浜市中央図書館 d: 調布市立図書館 e: 武蔵野プレイス f: 千代田区立千代田図書館 【新潟会場】 新潟市アイスアリーナ 【静岡会場】 ふじのくに地球環境史ミュージアム 【鳥取会場】 鳥取県立博物館 【島根東・島根西会場】※合同で実施 島根県立宍道湖自然館「ゴビウス」 【広島・福山会場】※合同で実施 広島県立図書館 【愛媛会場】 野村地域教育福祉複合施設(ゆめちゃんこ) 【沖縄会場】 那覇市若狭公民館							
社会教育特講	2/19 (金)	学校と地域の連携・協働 岡山大学大学院准教授 熊谷 慎之輔 〈事例研究〉 奈良市富雄中学校区地域教育協議会 鳥見小学校・幼稚園運営委員会代表コーディネーター 都築 由美 豊後高田市教育委員会学校教育課 課長 小川 匡 主幹兼学務係長 田中 良久		(課題別研究)							

【科目名】「社会教育演習」[2単位]

		9:00	9:30	11:00	11:15	12:45	14:00	15:30	15:45	17:15	
社 会 教 育 演 習	2/22 (月)	<p>《シンポジウム》 教育事業の立案・展開の現状と課題</p> <p>(コーディネーター) 社会教育実践研究センター専門調査員</p> <p>(登壇者) 群馬県教育委員会事務局中部教育事務所 次長(生涯学習係長) 伊井 敏弘 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 社会教育主事 伊藤 公雄 山梨県教育庁社会教育課 リーダー副主幹 小池 孝二</p>				<p>事業計画立案の実際</p> <p>(演習指導者)</p> <p>【主会場】 群馬県教育委員会事務局中部教育事務所 次長(生涯学習係長) 伊井 敏弘 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 社会教育主事 伊藤 公雄 山梨県教育庁社会教育課 リーダー副主幹 小池 孝二</p> <p>【新潟会場】 新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課長 武樋 正之</p> <p>【静岡会場】 静岡県教育委員会社会教育課 社会教育主事 鈴木 香 社会教育主事 大岡 浩子</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局社会教育課 社会教育担当社会教育主事 河合 淳一</p> <p>【島根東・島根西会場】 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉</p> <p>【広島会場】 広島県立生涯学習センター 社会教育主事 大名 克英</p> <p>【福山会場】 広島県立生涯学習センター 社会教育主事 寺川 博人</p> <p>【愛媛会場】 愛媛大学 名誉教授 讃岐 幸治</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育主事 松尾 剛 社会教育主事 川添 貴司</p>					
	2/23 (火)	<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>				<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>					
	2/24 (水)	<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>				<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>					
	2/25 (木)	<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>				<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>					
	2/26 (金)	<p>事業計画立案の実際 ※2/22午後と同じ</p>				<p>閉講式 13:00~13:30</p>					